



学院主催!

YFN2008が開催される! 今回のテーマは、「ADAMS BOOTCAMP!」 「ユース・フォー・ザ・ネーションズ 2008」汗と涙と感動の3日間!

「アダムズ・ブート・キャンプ～堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい～エペソ6:13」が開催!



ワークショップ・ドラマ・ライブ・メッセージ・交わり・悔い改め・祈り合い・遊び・訓練・伝道・ゲーム

「神様の深みを体験する」
北海道内外から若者が150人、
ライブには200名が集つ!

毎年恒例のユースキャンプ「YFN2008」が6月6日～8日までCFNJ聖書学院で開催され、昨年に続き、今年も道内外の21教会から、150人以上のユースとリーダー達が集まりました。ゲスト・スピーカーは、3年連続で世界のユースカルチャーをつくり変えるあの熱い男「アダム・マツケイン師」と、今回が2度目となる「ジャレッド・ブライアント師」です。初日の集会でアダム師は「私はこのキャンプで、皆さんを霊的に目覚めさせるために来ました!」と宣言し、ただゲストとして呼ばれて来たのではなく、神様から明確な使命を受けてこの日本に来たことを分かち合いました。

両師は、各集会で神様のひとことばを通して、ユースの人生をつくり変える力強いチャレンジと励ましのメッセージを語り、特に最後の集会では「IIサムエル記23章11節12節」から、自分の畑を敵から命懸けで勇敢に守った「シヤマ」という人物を通して、私たちがひとりひとりに命を懸けて守るべき畑があることをチャレンジし、参加者の多くが応答しました。

その後、教会ごとに集まり、共に手を取り合って祈る時が持たれましたが、会場全体に神様の強い臨在が臨み、激しく神様に祈り求める時間が1時間近くも続きました。キャンプ中にイエス様を救い主として信じた若者も起こされ、その変化に驚いた家族が後日、教会を訪れ、その家族も救われるという証しも報告されました。それぞれの教会でも参加したユースの変化や、続けて自分の畑のために祈り、伝道し始めていくことが報告されています。またユースリーダーの為にセミナーや、祈りの時が持たれ、日本のユースリーダーを励ましたいと願うアダム師の情熱に私たちは、あらためて深い感銘を受けました。

今回のYFNでは、これまでとは違い、ワークショップチームを各教会のユース代表で構成し、同じチームがすべての集会で賛美礼拝を導くようにしました。練習の面で事前に、なかなか共に集まる機会がなかったにも拘らず、本番ではチームが一つとなり、会衆全体が最初の集会から礼拝の深みへ導かれていきました。参加者からは「神様にもっと近づけた気がする!」「ずっと賛美していたい!」という声が聞かれ、賛美礼拝の中に臨在される神様を体験する時となりました。

最終日には、キャンプで燃やされたユースが、友人を誘って伝道できる機会を提供する目的で会場を移し「ユースライブ」が開催されました。約200名のユースが集い(うち来賓者が24名)ドラマやゴスペルソング、福音のメッセージを通して、数名の救いの決心者も起こされ、3日間に及ぶYFN2008の幕が閉じられました。長年キャンプを見てきたYFN代表のグドール師は「今回のYFNで、ひとりひとりが今まで味わったことのない、神様の深みを体験できたと思う。その背景には、これまで神様の臨在を求める祈りがあった」と語り、奉仕した学院生達も「YFNのために祈ってきたけれど、神様は私たちの祈りを聞いてくださり、答えてくださる方であることを実感した!」と感想を分かち合いました。

YFNでの熱いユースの祈りが、日本全体のリバイバルのうねりとなっていくことを期待し、すべての栄光を主に捧げます!